

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢
誰もが安心して楽しく暮らせるまちづくり

その仕事や夢を選んだ理由
世の中に起きている問題を解決しながら、自分も成長してやりがいを感じられると思いたい。

その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
コミュニケーション力・行動力(政治参加)・建築や自然に関する専門知識(建築士など)
語学(英語・スペイン) (建築士など)

勉強のためのお金(本代、博物館代、学費、留学) 交通費 生活費

年齢	必要な能力を身につけるためにやること
12才	小学校 各教科の学校の勉強。クラスのプロジェクト活動に積極的に取り組む。日本や世界で起きているニュースを調べる。体力をつける。国会や区議会の見学。英検準2級に合格。小学生向けの本を作る(7年生出版)。
13才 15才	中学校 各教科の学校の勉強。クラスや学校全体に必要な活動に取り組む。クラス、学校、部活、課外活動で組織の運営に関わる。英検2級に合格。社会問題を自分で調べる。
16才 18才	高校 各教科の学校の勉強。大学にむけての準備の勉強。建築の勉強。課外活動で事業計画を立てる。英検準1級1級に合格する。自分の進路についての研究をし、留学先を選ぶ。友を多く作る。
19才 20才	大学・留学 大学での勉強。都市開発に関わるアルバイトをして、仕事を学び、お金をためる。建築、環境、政治について勉強する。
21才 22才	多方面から環境を学べる学会に入る(例、こども環境学会など) 建築士の資格をとる。自治体の活動に参加する。
23才 24才	日本の過疎地域に行ったり、世界の貧しい国に行き、実際に困っていることを見たり聞いたりし、福祉、医療、教育などのアルバイトをする。
25才 27才	建築事務所、ディベロッパー(不動産)、ゼネコン(建設)などの会社で働く。または自分の会社を運営する。
28才 30才	仕事をしながら自治体の運営に参加する。異業種との交流をする。
31才 34才	30才までに自分の仕事を見直し、プロジェクトをまかせられるくらい専門分野を確立する。
35才	世界や日本の現状の課題に提言できる実力をつけ、リーダーとして働く。

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
世界各国をまわって、いろいろな国の人と話をしたり、ギターで交流をする。お世話になった人に恩返しをする。大きなアート作品を作る。

まちづくりへの第一歩

筑波大学附属小学校 五年 鈴木 大華

僕の夢は、誰もが安心して楽しく暮らせるまちをつくることだ。その理由は、僕は世の中の出来事を知れば知るほど、誰もが安心して生活しているわけではなく、誰かにとつての楽しみは誰かにとつての苦しみとつながって格差を生んでいる。人間の行動は自然環境には迷惑に陥っていたりして、その問題を次の時代に残していくことを悲しく感じているからだ。この問題を解決し、みんなが楽しい時間を過ごせることを考えると、僕はわくわくするし、やりがいになるだろうと思える。

想像してみると、一つの大きな建物を完成させようとするだけでも、多額のお金が必要になる。その上、僕たちが置かれている状況をふまえたアイデアや方法が求められ、自然との共存や世界情勢、同時に少子高齢化などの社会問題をはじめ、医療、福祉、教育、政治等をふまえた企画や設計が欠かせない。また、居心

地の良い空間にはアートや音楽などの芸術の力も大きく、多くの分野が混ざり合っている。建物はつくられていく。建物が活用されて、そこに人は集まり、交流が生まれる。まちづくりの目線で見ると、もつと大がかりになるだろうし、今のまちなかなり大変なことだと想像できる。

このように、必要なことを調べ出すと、何から手をつけたらいいのかわからないことばかりであるが、今、確実に言える目標が、僕には二つある。一つは、自分がコミュニケーション能力をつけることだ。やりやすいことが大きなテーマであり、様々な分野が関わるぶん、話す、聞く力だけでなく、より多くの知識がコミュニケーションになった。そのために僕は今学んでいるのだと思う。まずは、学校や生活の中で学んだことをつなげ、プロジェクト活動に積極的に取り組んでいく。将来的に

は、自分の軸として、語学、自然と建築の専門性を高めるために日本と海外の大学で学び、多様な人々や文化に触れて、知識や技術を身に付けていきたい。具体的には新しい建築素材を開発し、自然にも人にも優しい住宅を作ったり、今はゴミにされているものの中から活用できる材料を見つけた。そして、もう一つはお金について知ることだ。特に、まちづくりにおいては、お金の使い方は政治にも深く関連している。国会議員の方と話をし、まだ選挙権はなくても自分の目線でのまちの仕組みに興味を持ち、お金がどう集められ、どう使われるのかを知ることが大切なのではないかと感じた。そのため、国や地域の政策や他国の良い事例にも注目していこうと思う。さらにお金を生み出す仕組みも学びたいし、自分で事業に挑戦したいと考えている。

この二つの目標に向かい、一歩一歩自分を成長させながら、活動する仲間を増やし、できることを少しずつ増やしていくのが僕のやりたいことで、その先に安心して楽しく過ごせるまちが広がっていくはずだ。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。